令和８年　第９回　定例教育委員会　会議録

日　　時	令和８年９月２５日（金） １５時００分～１６時１５分
場　　所	阪南市役所　第２会議室
出　席　者	〈教育委員会〉 教　育　長　　向井説行 教育長職務代理者　　八田三紀 委　員　　辻雅之 委　員　　水島浩子 委　員　　柴﨑一也 〈事務局職員〉 生涯学習部長　　松下芳伸 副理事兼中央公民館長　　藤田学 教育総務課長　　永井隆祐 学校給食センター所長　　寺井浩之 学校教育課長　　両口通寛 生涯学習推進室長　　秋山秀子 こども政策課長　　楠本剛史 中央公民館長代理　　平山富憲
事　務　局	教育総務課主事　　宮坂怜来
書　　記	教育総務課主事　　宮坂怜来
傍　聴　者	なし

会議の要旨

（教育長）

令和８年第９回定例教育委員会を開会する。

本会議は、出席委員が定足数に達しており、有効に成立している。

署名委員に水島委員を指名する。

◆承認事項第１号「令和８年第８回定例教育委員会会議録について」（教育総務課）

（教育長）

承認事項第１号は、「令和８年第８回定例教育委員会会議録について」であるが、本会議録は、教育委員会会議規則第５条第２項の規定に基づき、委員会の承認が必要である。

意見、質問等はないか。

（全委員）

意見、質問等なし。

（教育長）

承認事項第１号について、案のとおり承認されたものとする。

◆報告事項第１号「後援名義使用許可について」（教育総務課）

（教育長）

報告事項第１号「後援名義使用許可について」教育総務課の報告を求める。

（教育総務課長）

令和８年８月１日から８月３０日までの間に教育委員会が後援し、名義の使用を許可した８件について、報告する。

１件目は、特定非営利活動法人ＣＯＣＯいこっと主催「泉州 trigger フェス」である。令和８年１１月２１日に、阪南市立文化センター小ホールにおいて、不登校・引きこもりの方々及びご家族、支援者等を対象に、音楽イベントが開催される。

２件目は、皿田能実行委員会主催「大阪能楽大連吟@はんなん」である。令和８年１１月２１日から令和９年1月９日までの間に、本願寺尾崎別院・阪南市立文化センターにおいて、一般の方を対象に、能楽の謡の指導を受け、第３５回皿田能公演前に本物の能舞台で発表を行う事業が開催される。

３件目は、フラワーズ主催「不登校それぞれの歩み２０２６泉南」である。令和８年１１月２８日に、泉南市総合福祉センターあいぴあにおいて、不登校児童・生徒の保護者を対象に、座談会が開催される。

４件目は、ＪＣM南大阪支部主催「音浴～寺院に響く悠久の調べ～」である。令和８年１２月６日に、本願寺尾崎別院において、一般の方を対象に、ホーミ

ー・二胡・シンセサイザーによる演奏会が開催される。
５件目は、特定非営利活動法人子どもＮＰＯはらっぱ主催「わくわくわいわいまちの探検」である。令和８年１１月１５日に、阪南市立文化センター　練習室において、小学生を対象に、まち歩き探検と、そこで発見したことを発表するイベントが行われる。
６件目は、日本エアバドミントン連盟主催「第７回エアバドミントン大会」である。令和８年１１月２８日に、大阪府営せんなん里海公園潮騒ビバレーにおいて、小学生以上を対象に、エアバドミントン大会が開催される。
７件目は、舞コーディネーターズ主催「さかそうマルシェ」である。令和８年１０月２５日に、わんぱく公園において、一般の方を対象に、飲食やワークショップ店舗の出店、音楽イベントが行われる。
８件目は、岬ラグビースポーツ少年団主催「岬ラグビースポーツ少年団秋のスポーツフェスタ」である。令和８年１１月７日に、二色の浜公園球技広場において、幼児・小学生を対象に、ラグビー体験のイベントが開催される。
これらの事業は、阪南市教育委員会の後援等に関する規則第２条各号のいずれにも該当するとは認められないことから、名義の使用を許可したものである。
（教育長）
ただいまの報告を受けて、質問等はないか。
（辻委員）
２件目の「大阪能楽大連吟＠はんなん」について、連吟とは複数人で謡うことを言い、大連吟なのでより多くの方が参加できるものである。
併せて、以前の会議でも話をした阪南市伝統文化体験プロジェクト実行委員会の取組についてもチラシができたので報告する。令和８年１１月１日から順次様々な体験や、子どもを対象に、稽古をして皿田能の舞台に立てる事業を行っていく。
（教育長）
他に、質問等はないか。
（柴﨑委員）
１件目の「泉州 trigger フェス」の主催団体である、特定非営利活動法人ＣＯＣＯいこっとについて教えてほしい。
（教育総務課長）
当該団体は、阪南市貝掛において、引きこもり状態にある当事者やその家族の心に寄り添い、相談援助、居場所提供、地域社会の啓発活動を行うことで、誰もが否定されず助け合える優しい社会の実現を目的として活動している団体である。
（教育長）
他に、質問等はないか。
（柴﨑委員）
６件目の「第７回エアバドミントン大会」について、エアバドミントンとはど

のようなスポーツか。
（教育総務課長）
　エアバドミントンとは、屋外でもバドミントンを楽しめるスポーツである。風の影響を受けにくい専用のシャトルを使用し、屋内バドミントンコートよりも広いコートで行われる。種目は、シングルス、ダブルスに加えてトリプルスがある。
（教育長）
　他に、質問等はないか。
（全委員）
　質問等なし。

◆報告事項第２号「令和８年度第１回いじめ問題対策連絡協議会の会議録について」（学校教育課）

（教育長）
　報告事項第２号「令和８年度第１回いじめ問題対策連絡協議会の会議録について」学校教育課の報告を求める。
（学校教育課長）
　令和８年７月１６日に開催した、令和８年度第１回いじめ問題対策連絡協議会の会議録について報告する。案件は、（１）令和７年度いじめ認知件数等について、（２）この間、各機関が対応したいじめや子どもに係る事案等について、（３）阪南市におけるいじめの内容の傾向や特徴について、（４）関係機関との連携が効果的だと考えるいじめ事案等について、（５）その他であった。
　詳細は、資料のとおりである。
（教育長）
　ただいまの報告を受けて、質問等はないか。
（教育長職務代理者）
　いじめを積極的に認知し、早期に対応されていることがよく分かった。認知した後は、本人の気持ちや安全をどのように確認し、解消したと判断しているのか。また、解消後も再発がないかを継続してどのように確認しているのか。
（学校教育課長）
　いじめを認知した場合、対策委員会を校内で開き、事実確認のために調査・聞き取りを行う。必要に応じて、対策委員会前の聞き取りや、周りにいた子どもたちにも聞き取りを行う。聞き取った内容は、校内の対策委員会で情報共有し、被害側加害側両者の気持ち等を含めて、どのような行為があったのか事実確認を行う。
　一定の指導後は、学年や関係教員等で見守りを続け、適宜声かけを行う。その中で、日々の様子を共有し、必要に応じて家庭とも連携する。
　解消については、いじめ防止対策推進法に基づく国の基本方針においては、いじめに係る行為が目安として少なくとも３か月の間行われていないこと、及び被

害児童・生徒が心身等の苦痛を感じていないことを本人等に確認し、この２点を満たしている場合に、校内で解消と判断している。

再発がないかについては、適宜声かけを行い確認することや、学期に１回実施するアンケートやそれを踏まえて行う面談の際にも確認している。さらに、スクールカウンセラー等に繋がった児童・生徒の場合は、スクールカウンセラー等が面談の場で確認することもある。

（教育長職務代理者）

解消まで３か月ということだが、それよりも短期間で解消と認定することはあるのか。

（学校教育課長）

国の基本方針においても、先述の２点が解消の要件になっており、「少なくとも３か月を目安」と記載されている。学校現場でも３か月は最低ラインと捉えている。

（柴﨑委員）

市ウェブサイトへの公開や抜粋した内容を校長会等で伝えているのは良いことだと思う。いじめのニュースを見ると、アンケートにいじめの事実を回答しているのに学校が見落としていたということがある。アンケートとともに個別面談も行っているとのことなので大丈夫だと思うが、見落としのないようにしてほしい。アンケートの保管も適切にお願いしたい。

（水島委員）

このアンケートや個人面談は、学期のどのタイミングで行われるのか。また、アンケートの対象者は子どものみで、保護者は対象ではないのか。

（学校教育課長）

アンケートを行い、内容を確認する期間をあけて面談を行うため、学期途中に行われることが多い。

学校生活に関するアンケートなので、児童・生徒を対象に行っている。学年によって質問の文言や内容を変えている学校もあるが、学習に関わる質問等、総合的なアンケートの中に、必ずいじめに関する質問を設けている。いじめ特化のアンケートというよりは、学校生活に関する総合的なアンケートというイメージである。

（教育長）

他に、質問等はないか。

（全委員）

質問等なし。

◆報告事項第３号「令和８年度公民館運営審議会会議録について」（中央公民館）

（教育長）

報告事項第３号「令和８年度公民館運営審議会会議録について」中央公民館の

報告を求める。
（中央公民館長）
　令和８年７月２７日に開催した、令和８年度公民館運営審議会会議録について報告する。案件は、（１）委員の委嘱、委員長・副委員長選出について、（２）令和８年度公民館運営体制について、（３）中央公民館、３地区公民館の運営・活動について、（４）その他であった。
　詳細は、資料のとおりである。
（教育長）
　ただいまの報告を受けて、質問等はないか。
（全委員）
　質問等なし。

◆報告事項第４号「令和１０年開園予定の幼保連携型認定こども園について」（こども政策課）

（教育長）
　報告事項第４号「令和１０年開園予定の幼保連携型認定こども園について」こども政策課の報告を求める。
（こども政策課長）
　令和１０年４月開園予定の幼保連携型認定こども園について報告する。本事業は、令和１０年４月の開園に向け、設置主体となる社会福祉法人任天会と覚書を締結し、具体的な協議を進めている。事業状況や施設概要の詳細は、資料のとおりである。
　次に、施設整備に伴う財政措置および事業費については、本整備にあたり、令和８年阪南市議会第３回定例会において債務負担行為等の追加補正予算を議決された。本事業は、国の「就学前教育・保育施設整備交付金」を活用して施設整備を進めるものであり、詳細は、資料のとおりである。
　また、公立幼稚園、保育所の在園児童の保護者や今後入園を希望する保護者を対象とした保護者説明会を令和８年１０月２５日に実施予定である。
（教育長）
　ただいまの報告を受けて、質問等はないか。
（教育長職務代理者）
　事業費について、事業費と補助金額の差額は事業者の負担ということか。また、補助金の上限は、何を基準として設定されているのか教えてほしい。
（こども政策課長）
　委員の言うとおり、差額は事業者の負担である。
　上限については、建設予定施設の施設定員を基準に上限が設けられている。２階にカフェスペースや研修スペースを設置予定で、この部分が補助対象外となるため事業者負担が大きくなっている。本事業者は、選定時から市や地域に貢献し

たいという熱意を持っており、本市で２園目となる今回の案件への応募に至った。
（教育長）
　他に、質問等はないか。
（水島委員）
　当該事業者は桃の木の森こども園を運営している経験もあるため、市やまちのことに理解があると思うのでありがたい。
　園の場所が大通り沿いなので、自動車で園に入るにあたり、交通面の安全や渋滞等で一般の方の迷惑にならないように対策してほしい。
（こども政策課長）
　市と事業者共に、交通面については課題意識を持っており、協議しているところである。当初予定では、出入口が１つであったが、もう１つ出入口を設置することで、入口と出口を分けるなどの対策を進めている。
（教育長）
　他に、質問等はないか。
（柴﨑委員）
　令和１０年４月開園予定ということであるが、工事は既に始まっているのか。また、公立の幼稚園、保育所が閉園になるタイミングで在籍している児童は、優先的に入園できるのか。
（こども政策課長）
　現在は開発工事を行っているところで、建物の工事着工は年明けになる予定である。現時点ではスケジュールどおりに進捗している。
　令和１０年３月時点で公立幼稚園、保育所が閉園の時点で在籍している児童については、通常の園児募集の前に意向調査を行い、優先的に入所できる形をとる。
（柴﨑委員）
　説明会の場でそのような説明があれば保護者も安心できると思う。丁寧な説明をお願いしたい。
（教育長）
　他に、質問等はないか。
（全委員）
　質問等なし。

◆その他案件①「教育委員会関連行事について」（各担当課）
（教育長）
　教育委員会に係る行事等について、その内容と主たる担当課を示している。
　各課の報告を求める。

　※詳細は資料のとおり

（教育長）
　ただいまの報告を受けて、質問等はないか。
（全委員）
　質問等なし。

◆その他案件②「教育委員会関連行事等の報告について」（各担当課）

（教育長）
　その他案件②、「教育委員会関連行事等の報告について」各課の報告を求める。
　まずは、８月２８日に開催された「英語暗唱大会・社明弁論大会」について、学校教育課の報告を求める。
（学校教育課長）
　令和８年８月２８日、サラダホール小ホールにおいて、中学校の代表生徒による英語暗唱大会、社明弁論大会が開催された。はじめに英語暗唱大会、その後社明弁論大会という順で同じ会場で続けて実施した。
　英語暗唱大会には、市内中学校から１７人の生徒が参加した。生徒たちはそれぞれに、英語の短編を一生懸命練習し、覚え、その成果を発揮していた。そのような様子に会場の観客も温かく応援したり、時には一緒に笑ったりと、非常に和やかな雰囲気の中で発表が行われた。生徒たちのひたむきな姿が印象的な、大変温かい大会となった。
　続いて、社明弁論大会には、各中学校から各学年の代表者１名ずつ、計１２人の生徒が参加した。発表内容は、貧困やＳＮＳなどの社会的な課題から、身近な友人関係や家族に関すること、阪南市の未来についてなど多岐にわたっていた。いずれの生徒も「社会を明るくするためには」という大きなテーマについて、考えや想いを弁論していた。生徒たちのひたむきな姿や一生懸命発表している様子に感心し、次代を担う子どもたちのそんな姿に、阪南市の未来がますます明るくなるのではないかと期待するような充実した大会となった。
（教育長）
　ただいまの報告を受けて、質問等はないか。
（水島委員）
　社明弁論大会とは何か。また、２つの大会に関係はあるのか。
（学校教育課長）
　社会を明るくする運動の弁論大会を省略した呼び名である。英語暗唱大会と社明弁論大会は参加者はどちらも阪南市の中学生だが、全く別のものである。前半で英語暗唱大会を行い、交代して社明弁論大会が行われた。
（教育長）
　他に、質問等はないか。
（全委員）
　質問等なし。

（教育長）
　次に、８月２９日に開催された「ウミホタル観察会」について、西鳥取公民館の報告を求める。
（中央公民館長代理）
　令和８年８月２９日、西鳥取公民館、鳥取ノ荘の海岸にて、「ウミホタル観察会」が開催された。この観察会は、子ども達を中心に阪南市における自然や海の豊かさ、それを守る活動に真摯に取り組む人達の存在を知ってもらうために、自然と本の会と西鳥取公民館の共催イベントとして５年前から行っており、今年も大盛況であった。
　１１組３０名の参加があり、阪南市内からだけでなく、兵庫県宝塚市や堺市、岸和田市、和歌山市など他市からの参加もあった。
　午後６時から始まる夜の館外講座であることから、安全面には十分注意して行われた。参加者集合後、西鳥取公民館にてウミホタルについて座学で学び、各自で捕獲器を作成した。その後、鳥取ノ荘の海岸まで歩き、砂浜の波打ち際から自作の捕獲器を海に投げ入れた。獲れなかった参加者もあったが、捕獲器の中のウミホタルの出す光に参加者一同が歓声を上げた。ウミホタルを一斉に海へ返す際に集まった光も感動的で、阪南市の海岸、自然の素晴らしさや大切さを知ってもらう機会となった。来年も開催を予定している。
（教育長）
　ただいまの報告を受けて、質問等はないか。
（全委員）
　質問等なし。
（教育長）
　次に、８月３０日に開催された「カンテレアナウンサー関＆豊田のおしゃべり朗読会」について、生涯学習推進室の報告を求める。
（生涯学習推進室長）
　令和８年８月３０日、阪南市立文化センターにて、「カンテレアナウンサー関＆豊田のおしゃべり朗読会」が開催された。文化センターと図書館の共同企画で、関西テレビアナウンサーの関純子氏と豊田康雄氏が文化センターに初登場した。
　当日は３部構成で、第１部では、オープニングトークの後、エッセイや「吾輩は猫である」の朗読が行われた。
　第２部では、「みんなで声を出そう！」と題して、参加者全員で早口言葉に挑戦した後、ワークショップでは、地元の朗読グループと鳥取中学校放送部の部員が参加し、地元ニュースや阪南市の昔話などの原稿読みに挑戦し、アクセントや読み方のコツなどのアドバイスをもらった。
　第３部では、アナウンサーの２人による名作の朗読が披露された。
　入場者は１３９名で、楽しいトーク、心に響く絵本や詩の朗読に加え、発声・発音のワークショップを通して、言葉や声の魅力に触れる機会となった。
（教育長）

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。
（全委員）
質問等なし。
（教育長）
次に、８月３０日に開催された「英語多読交流サロン」について、生涯学習推進室の報告を求める。
（生涯学習推進室長）
令和８年８月３０日、阪南市立図書館にて、「英語多読交流サロン」が開催された。辞書を使わずに自分のレベルに合った優しい英語を大量に読むことで英語本の読書の推進を図ることを目的に交流サロンを実施した。自己紹介の後、英語表現に関する意見交換などを行った。
参加者は１０名で、常連の参加者に加え、初めての参加者もいた。貝掛中学校のＡＬＴの先生が初参加し、皆で英語で自己紹介や参加者同士で絵本をおすすめし合うなど、和やかな雰囲気で意見交換をする有意義な場となった。
（教育長）
ただいまの報告を受けて、質問等はないか。
（全委員）
質問等なし。
（教育長）
次に、８月３０日に実施された「昭和横丁」について、尾崎公民館の報告を求める。
（中央公民館長代理）
令和８年８月３０日、地域交流館体育施設にて、「昭和横丁」が開催された。本事業は、地域の活性化と多世代交流を目的として、昨年度まで実施していた「夜店」を発展させ、子どもから高齢者まで幅広い世代が交流できる機会として、昭和時代の遊びや暮らしを体験する内容を取り入れて実施したものである。尾崎公民館、地域交流館、市民活動センターの３機関が共催し、地域団体やボランティアの協力を得ながら開催した。
当日は、金魚すくい、玉せん、綿菓子、射的、くじ引き、コイン落とし、スーパーボールすくいなどの夜店を設けたほか、ベイゴマ、べったん、けん玉、竹鉄砲などの昔の遊びを体験できるコーナーを実施した。また、黒電話や五玉そろばん、氷冷蔵庫など、昭和の暮らしを感じることのできる生活用具を展示し、実際に見たり触れたりする体験の場を設けた。
会場には、子どもや保護者、高齢者など約６００人が来場し、世代を越えて昔の遊びや生活文化を楽しむ姿が見られた。特に、高齢者が子ども達に昔の遊び方や道具の使い方を伝える場面も多く、昭和の生活文化を次世代に伝えるとともに、自然な世代間交流に繋がる機会となった。
今回の取組を通して、３機関の連携に加え、地域団体やボランティアとの協働による地域交流の場を創出することができた。今後も、地域の人材や文化を活か

しながら、子どもから高齢者まで多様な世代が気軽に参加し、交流できる事業づくりを進めていく。
（教育長）
　ただいまの報告を受けて、質問等はないか。
（全委員）
　質問等なし。
（教育長）
　次に、９月１０日から１３日に実施された「Happy　Piano　Days　２０２６」について、生涯学習推進室の報告を求める。
（生涯学習推進室長）
　令和８年９月１０日から１３日、サラダホール大ホールにて、「Happy　Piano　Days　２０２６」が開催された。世界最高峰のグランドピアノ「スタインウェイ」を大ホールで５５分間、独占して演奏できる恒例の人気企画で、１日１１枠、４日間で合計３８組８１名の参加があった。
　参加者は、１人でのピアノ演奏だけでなく、アンサンブルや連弾に挑戦するなど、それぞれのスタイルで演奏を楽しんでいた。
　参加者からは、反響板が設置された本格的な大ホールのステージに立ち、最高峰のグランドピアノの音色を全身で浴びる時間は大変贅沢で貴重な機会で、軽く鍵盤に触れるだけで音色がホール全体に広がっていく心地よい感覚に感動したという感想があった。世界中のピアニストから愛されている「スタインウェイ」と、美しい響きを持つ大ホールの空間で、演奏を楽しむ機会となった。
（教育長）
　ただいまの報告を受けて、質問等はないか。
（全委員）
　質問等なし。
（教育長）
　次に、９月１７日に開催された「言語能力を育むモデル校　学校公開」について、学校教育課の報告を求める。
（学校教育課長）
　令和８年９月１７日、上荘小学校にて、「言語能力を育むモデル校」としての学校公開を実施した。当日は市外からの参加者を含む３９名の教員が来校し、公開授業、実践報告、講演を通して、本モデル校の取組を広く発信する機会となった。
　公開授業では、「自分の考えをわかりやすく伝える言葉の力を育む授業づくり～国語科を要とした言語活動を通して～」をテーマに、１年生から６年生まで、国語科を中心に、理科、外国語、体育を含む各学年の授業を公開した。参加者は授業を参観した後、討議会において授業内容や指導の工夫について意見交換を行い、実践への理解を深めた。
　また、今年度当初より、本モデル校が継続して助言を受けている、京都女子大

学教授である水戸部修治氏による講演も行われた。
　今回の学校公開を通して、参加者は言語能力を育む授業づくりの具体的な実践に触れ、本市における教育の充実に向けた取組を共有する貴重な機会となった
（教育長）
　ただいまの報告を受けて、質問等はないか。
（全委員）
　質問等なし。
（教育長）
　次に、９月２３日に開催された「宮原雄大＆高橋純子デュオコンサート」について、生涯学習推進室の報告を求める。
（生涯学習推進室長）
　令和８年９月２３日、サラダホールにて、「宮原雄大＆高橋純子デュオコンサート」が開催された。阪南市出身の音楽家による演奏を通して、身近に音楽や文化芸術に振れる機会を提供するとともに、地域ゆかりの音楽家の活動を広く知ってもらい、文化芸術への関心を高め、サラダホールへの来館促進につなげることを目的に、宮原雄大氏と高橋純子氏のデュオコンサート「名曲の贈り物　クラシックから映画音楽まで」を実施した。
　入場者は４１７名で、クラシックの名曲をはじめ、映画音楽やスタジオジブリ、ディズニー作品の楽曲など幅広いジャンルの楽曲を披露した。ゲストとしてヴァイオリニストの池原衣美氏を迎え、ピアノ、チェロ、ヴァイオリンによる室内楽編成ならではの豊かな響きと表現力を通じて、質の高い音楽鑑賞の機会を提供することができた。
　来場者アンケートでは、「地元の宝だ。これからも応援したい」「演奏のレベルが高く感動した」など、高い評価が得られた。
（教育長）
　ただいまの報告を受けて、質問等はないか。
（全委員）
　質問等なし。
（教育長）
　他に、報告事項はないか。
（中央公民館長）
　令和８年９月１２日、西鳥取公民館にて開催された「新しい生涯学習のカタチ　シニア世代のｅスポーツ入門」について報告する。当日は約９０名の参加があった。
　また、参加者がｅスポーツを体験している様子が、９月２６日から一週間、Ｊｃｏｍテレビの「ジモト　トピックス」にて放送される予定である。
（教育長）
　ただ今の報告を受けて、質問等はないか。
（全委員）

質問等なし。

◆その他（教育長）

（教育長）

続いて、委員から何かないか。

（教育長職務代理者）

学校薬剤師として各学校の配膳室の点検に入っている。備品等について、非常に綺麗で丁寧に使われているのが分かって良かった。

ただ、壊れている冷蔵庫やサーキュレーターなど、使用していない備品が残っている学校があったので、廃棄に向けた検討をしてもらいたい。

また、配膳室の空調が整備されて、非常に助かっているという声があったが、配膳室よりも体育館の空調の整備が優先されるべきではないかという声もあった。前回会議でも同様の話をしたが、引き続きお願いする。

（教育総務課長）

配膳室の備品については、給食センターと連携し、現場の状況を把握し、廃棄できるものは処分したい。

（柴﨑委員）

今年度、まだ学級閉鎖の情報が入ってきていないが、感染症の罹患状況はどうか。

（水島委員）

インフルエンザ、コロナの感染者は非常に増えている。学級閉鎖には至っていないが、増え始めると固まって増えるので注意してほしい。

（柴﨑委員）

運動会、体育祭の練習も始まると思うので、感染症対策についても改めて指導してほしい。

（教育長）

他に何かないか。

（全委員）

質問等なし。

（教育長）

次回の令和８年第１０回定例教育委員会は、令和８年１０月２３日金曜日１４時から阪南市防災コミュニティセンター１階研修室で開催したいが、いかがか。

（全員）

異議なし。

（教育長）

令和８年第９回定例教育委員会を閉会する。

以上